

一般入試前期A日程2日目

国語

I

出典 『漢文脈と近代日本』（齋藤希史）角川文庫

日本における近世後期の漢文および漢文学習について説明された文章です。日本と中国における漢文の位置付けを丁寧に読み解くことが大切です。

問1【漢字の書き取り】（解答番号は①～⑥）

a綿々 b傍流 c風潮 d観念 e波及 f継承 がそれぞれ正解です。「傍流」があまりできていませんでした。完全正答率は3.9%でした。

問2【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は⑦・⑧）

Ⅰは⑤「近世」、Ⅱは⑤「基底」が入ります。Ⅰは第一段落の内容から導けます。正答率は、Ⅰが86%、Ⅱが88%でした。

問3【空欄補充・前後の文脈から適当なものを選ぶ】（解答番号は⑨）

アの前の三段落分の内容から①「昌平黻を基点とする」が導けます。正答率は63%でした。

問4【空欄補充・前後の文脈から適当なものを選ぶ】（解答番号は⑩）

イの前後の内容から①「解釈の統一」が導けます。特に、イに続く文章で「つまり」と言い換えられている部分がヒントです。正答率は33%でした。

問5【空欄補充・前後の文脈から適当なものを選ぶ】（解答番号は⑪）

ウの直前から④「『学ぶ』階層」が導けます。正答率は62%でした。

問6【文脈把握・内容理解】（解答番号は⑫）

傍線部Aの直後から正答⑥が導けます。「端的に言えば…からです」という表現がヒントです。正答率は87%でした。

問7【文脈把握・内容理解】（解答番号は⑬）

傍線部Bに続く三段落分の内容から正答④が導けます。正答率は87%でした。

問8【文脈把握・内容理解】（解答番号は⑭）

傍線部Cの前後から正答④が導けます。正答率は91%でした。

問9【文脈把握・内容理解】（解答番号は⑮）

傍線部Dを含む段落の内容から正答⑤が導けます。正答率は95%でした。

問10【内容理解による小見出し選択】（解答番号は⑯）

正解は②です。空欄甲で始まる段落の冒頭と末尾で「漢文の素養」、「素養としての漢文」と繰り返されています。正答率は84%でした。

問11【内容理解による小見出し選択】（解答番号は⑰）

正解は④です。空欄乙で始まる段落の末尾に「士人意識への志向」とあります。正答率は58%でした。

問12【内容合致】（解答番号は **18**）

正解は①・④です。⑦を選ぶ誤答が多く見られましたが、「知識として身につけておくべき藝事に近い位置づけ」は平安時代のことです。完全正答率は30%でした。

II

出典 『桜が創った「日本」』（佐藤俊樹）岩波新書

ソメイヨシノはすべてクローンであるという話題から、花見の変遷と日本人の花見についての話題へと展開します。ソメイヨシノをクローンであるとする理解に「微妙なずれ」があること、花見が「一本桜から群桜へ」変化する状況を把握することが鍵になります。

問1【漢字の書き取り・読み】（解答番号は **19**～**24**）

a複製 b総称 cけいだい d近隣 e希（稀）少 f旧暦

全問正答率は18.4%でした。「けいだい」を「きょうない」と読む誤りや、「旧暦」を「旧歴」と書く誤りが目立ちました。

問2【空欄補充・文脈把握】（解答番号は **25**～**27**）

I の直前にある「人間に見立てている」がヒントです。正解は①です。正答率は76%でした。**II** にはクローンに受け継がれるべきものが入ります。正解は⑤です。正答率は84%でした。**III** の1行前で「時空」という一体化した概念の大切さを示しています。正解は⑥です。正答率は92%でした。

問3【空欄補充・文脈把握】（解答番号は **28**）

桜の種類によって開花期に差があることは『江戸名所花暦』に記され、彼岸桜 → 一重桜 → 八重桜と変遷し、最後は葉桜になります。**X** は、桜の開花期を過ぎても人が群集するとの文脈ですから、開花の変遷の最後の段階に対応します。**Y** と **Z** は、それぞれ「ひとえ桜」より十日ばかり早く咲く桜と、遅く咲く桜になります。正解は⑤です。正答率は36%でした。

問4【空欄補充・文脈把握と内容理解】（解答番号は **29**）

開花期の賑わいを「争奪戦」と喩える文脈を理解することが重要です。正解は⑤です。正答率は59%でした。

問5【内容把握】（解答番号は **30**）

何と何との間にどのような「微妙なずれがある」のか、前後の文章を丁寧に読み取り、「実生」の意味を正確に把握することが大切です。正解は③です。正答率は54%でした。

問6【文脈理解・内容把握】（解答番号は **31**）

傍線部は直前の「その辺も桜らしいといえば桜らしい。」という表現の置き換えです。正解は①です。正答率は38%でした。

問7【文脈理解・内容把握】（解答番号は **32**）

傍線部直前の「満開時に並木の下」がヒントです。正解は①です。正答率は100%でした。

問8【文脈理解・内容把握】（解答番号は **33**）

ソメイヨシノ以外の桜で開花宣言すると、宣言自体が「まぬけなものになってしまう」という文脈が込められます。正解は⑤です。正答率は92%でした。

問9【文脈理解・内容把握】（解答番号は **34**）

傍線部の「もう一つ」は前の段落を受ける記述であるので、前の段落の内容がヒントです。正解は②です。正答率は80%でした。

問10【小見出し選択】（解答番号は **35**）

ソメイヨシノの特性を正確に理解することがポイントです。正解は④です。正答率は43%でした。

問11【小見出し選択】（解答番号は **36**）

ソメイヨシノを中心とする花見の地理的な話題が、それ以前の話題へと展開する内容であることを把握する必要があります。正解は②です。正答率は30%でした。

問12【内容合致】（解答番号は **37**・**38**）

正解は⑦と⑧です。①「一本ではなかったことがわかる」と断定的である点、②「ソメイヨシノが遺伝子工学の成果であること」、③「全国で咲くタイミングは～共有できる」、④「そこに～育てたものである」、⑤「地図上の～システム」、⑥「戦時中～もどった」、⑨「吉原～同じ趣向である」、以上が誤りです。1問正答率は62%で、完全正答率は6.6%でした。